

## 第1回 天橋立公園松並木景観保全委員会（平成30年11月9日） 主な委員意見と対応

委員からの主な意見	回答・対応方針	松並木景観保全計画（案）への反映・取扱い
《広葉樹試験伐採の評価》		
① 過年度調査を含め、草本層の出現種や種毎の被度・群度を示して欲しい。	草本層の出現種一覧と種毎の被度・群度を委員に送付済み。	—
② 草本層の出現種変化の要因に維持管理作業の変更も考えられるため、場所毎の維持管理作業の内容を整理しておく。	<p>●平成27年度までは年2回実施（巻末資料参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目：6～7月に全域で実施</li> <li>・2回目：10～11月に繁殖状況をみて一部で実施</li> </ul> <p>●平成28年以降は年1回実施（7月上旬に全域で実施）</p> <p>※作業には重要種リストを提示し、重要種は残すよう指示している。</p>	—
③ 常緑広葉樹は、実生の段階で除去する方が費用も抑えられ、今後の環境保全対策としても有効である。	除草作業の際に、広葉樹の実生も除去しており、今回の調査で見つかった広葉樹の実生については、今後の除草作業で除去する予定である。また今後は、広葉樹の実生を発見したら、その都度除去する。	広葉樹は実生の段階で除去する旨を追記。
④ 広葉樹伐採後の経過年数と萌芽発生状況や伐採費用を整理しておくことで、今後の管理の参考になる。	今後は除草作業の際に萌芽についても除去する。 (伐採費用については第2回委員会で説明)	広葉樹の萌芽は除草作業の際に除去する旨を追記。
⑤ 試験伐採した樹種を示して欲しい。	試験伐採した樹種は一覧に整理し、委員に送付済み。	試験伐採した樹種について追記。
⑥ 伐採後の外景観写真について、もう少し伐採した状況がわかるような写真があればいいと思う。伐採した箇所の定点撮影については継続的に実施してほしい。	伐採前に定期観光船航路上や主要展望台から外景観写真を撮影しており、同じ視点場から伐採後の外景観写真を撮影したが、伐採本数が少なかったため、伐採状況が明確に分かる写真はなかった。定点撮影は、今後も継続的に実施していく。 なお、定点数がかかなり多くデータが膨大になるので、定点の削減やドローンでの撮影による記録とすることについても検討したい。（ドローン撮影は12/11に実施済み）	定点撮影を継続的に実施する旨を追記。

委員からの主な意見	回答・対応方針	松並木景観保全計画（案）への 反映・取扱い
≪広葉樹伐採計画≫		
⑦ 伐採計画における3割伐採について、太い木の伐採と細い木の伐採では影響が異なるため、本数に対する3割伐採ではなく、空間容量的に3割伐採とするなど、もう少し議論が必要である。	先生方の研究では、容量的に3割以上の伐採はマツや景観への影響が大きいという結果であったため、一度に伐採する樹木の上限は容量的に3割と捉え、それを超えない範囲で伐採しようと考えている。 廻旋橋～はしだて茶屋の区間は、風通しの良いマツの純林であり、目指すべき姿と考えている（旧Cゾーン）。天橋立神社以北の砂州幅の狭い区間（旧Aゾーン）は、広葉樹の割合が低いため全伐採でも問題ないと考えている。広葉樹の割合が高い天橋立神社周辺エリア（A-VIIとC-I）は、段階的に広葉樹を伐採し、広葉樹伐採によって出現する裸地にマツを補植してギャップを補完する計画としている。この時、一度に伐採する広葉樹は横断延長の3割を上回らないように範囲を設定する。	一度に伐採する樹木の上限を現状の空間的容量の3割とする旨を追記。
⑧ 伐採木は1本1本吟味して選定すべきある。また、伐採方法や伐採根拠なども明確にしておき、次の担当者への引継ぎや業者の発注に支障がないようにすべき。	基本的にヤマモモ、ヤマザクラ、ヤマナシについては残し、その他の広葉樹については全て伐採しようと考えている。広葉樹の伐採木の選定については有識者から現地で指導を受ける。	現地で有識者の指導を受けて、広葉樹の伐採木を選定する旨を追記。
⑨ 広葉樹だけがマツの生長を妨げているのではなく、マツ同士の競合も問題であるため、健全な松林を形成するためにはマツの間伐も必要である。	マツの立木密度が高いA-VIIIおよびDエリアについては、計画的にマツの間伐を実施していきたいと考えている。 また、その他のエリアについても広葉樹伐採と併せて、必要に応じてマツの間伐を実施したいと考えている。広葉樹伐採の現地確認の際に、間伐した方が良いマツの選定についても有識者から指導を受ける。	有識者の指導の下、必要に応じてマツの間伐を実施する旨を追記。
⑩ 伐採計画はいいと思うが、倒木させにくくするための対応も考えるべき	倒木しにくいマツが育つ環境にするため、腐植層の除去やマツの間伐については第2回委員会で議論する。	第2回委員会での結果を踏まえて、計画（案）に反映。
⑪ ドローンなどを活用して、視覚的に天橋立公園の現況を把握して欲しい。	12/11にドローン撮影を実施済み。撮影した映像はDVDで各委員へ提供する予定。	ー

エリア毎の除草実績

エリア	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	海水浴前	秋	海水浴前	秋	海水浴前	秋	海水浴前	秋
A	○		○	○	○		○	○
B	○		○		○		○	○
C	○	○	○	○	○	○	○	○
D	○		○	○	○		○	○
E	○	○	○		○	○	○	
F	○		○		○		○	

